

ホーム名：グループホームサンシャイン					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念は以前より策定しており、スタッフ控室、事務所に掲示し、周知行っている。	事業所の理念と理念に基づく実践のための目標を策定し、職員間で実践目標を掘り下げて話し合い、日々のケアの実践につなげている。	継続して実践目標に基づくケアの実践に取り組みながら、地域や利用者のニーズ、事業所を取り巻く状況の変化によって、実践目標の見直しを検討されていられることに期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	地域行事（もちつき大会 敬老大会 盆踊りなど）に参加。また、月に2回のふれあい喫茶にも参加し、今年度からは100歳体操に参加。地域のボランティアにホーム行事に参加してもらい交流している。	地域行事への参加等の交流を通じて、利用者が地域社会とつながりながら当たり前の暮らしを続けられるよう取り組んでおられる。又、職員は、地域の活動や地域住民との交流にも積極的に参加、地域にも貢献されている。	継続して地域とともに暮らす一員として、地域で必要とされる活動や役割を担い、地域との関係を深めていられることに期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	特別機会は設けていないが、ホーム行事を利用し地域の方と交流したり、運営推進会議などで、ホーム内の出来事を伝えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、2か月間の経過報告（行事、事故報告、研修等）を発表し、出席者に様々なご意見をいただき、ケアに活かしている。また、地域の高齢者問題など情報をいただいている。	運営推進会議は、地活協の会館で開催されており、地域の各団体の代表者が参加され、事業所からの報告だけにとどまらず、質問、要望等を含めた活発な意見交換が行われている。	運営推進会議で、地域の各団体代表者から運営への助言を頂くことにより、地域からの視点も運営への反映につなげていられることに期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	区役所担当者とは必要に応じて連絡を取り合っている。生活保護の方には定期訪問あり。また、運営推進会議には、地域包括支援センターの担当者にも参加してもらっている。	地域の地域包括支援センターと緊密に連携しながら、必要に応じて、区役所とも良好な関係が築けている。	運営推進会議にも市の担当者へ出席頂けるよう認知症ケアにおける地域と連携した新たな取り組み等を検討されてはどうか。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	サービス基準を正しく理解し、入居者の安全を守るうえで必要最低限の対応を行っている。定期的に職員会議でも内部研修している。	各職員向けには内部研修を行い、会議等で職員同士が意見交換を行う対策を通じて、身体拘束を防止している。個別事情によりセンサーマットを使用しているが、家族の同意を得ている状況。	身体の物理的拘束以外に、スピーチロックやドラッグロックによる薬物の過剰投与や不適切な投与で行動を抑制することも身体拘束につながるもので、意識してケアに取り組んで頂きたい。
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所などでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議を利用し研修し、啓発している。できる限り、外部研修にも参加するようにしている。また、ニュース、新聞などで取り上げられた事例は、その都度注意を喚起している。		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>個々の自己研鑽は必要である。現在は学ぶ機会を設けていない。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時に、ご本人様及びご家族様に向け契約書を見ていただきながら、説明を行い、理解、納得されたうえ契約し入居いただいている。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>事務所前と2F入口2ヶ所に意見箱の設置をしている。</p>	<p>利用者や家族等が、職員に意見や要望等を何でも言ってもらえるよう取り組んでおられる。面会時間はフリーのため、事前に連絡があれば、いつでも訪問し、職員と話をすることができる。</p>	<p>家族や利用者からの意見や要望等は、職員がいつでもどこでもタイムリーに情報共有が可能となるタブレットを活用したしくみを検討されてはどうか。又、意見箱への投函を気軽に投函してもらえるようアンケート形式を用意されてはどうか。</p>
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>職員の意見は、適宜場を設けている。</p>	<p>管理者は、職員からの日々の利用者との関わりの中での気づきや考えを聞き、運営に反映されている。管理者は、職員とともに運営の改善に取り組んでいる。</p>	<p>職員の意見がいつでもどこでもタイムリーに共有が可能となるタブレットを活用したしくみを検討されてはどうか。法人本部との情報共有のしくみとしても検討されてはどうか。</p>
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>各職員の労働時間 休日など要望をできる限り、聞き入れている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修へ参加した後、職員会議で発表、報告を行い、参加できない職員には書面配布し、研修している。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>大阪市GHネットワークおよび東淀川区GH連絡会に参加し、お互いの事業運営の意見を交換し、事業に反映させている。今後は研修会など開く予定です。</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人からの要望は個人面談を行い、確認している。入居後もできる限り、本人の要望がかなえられるように心がけている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族からは、初回の面談時に不安に思っている事、困っている事を確認し、入居後のケアに反映している。何か問題あれば連携を密にとっている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>必要な医療関係者、福祉事業所、地域包括支援センターなどと連絡し調整している。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>地域行事、クッキングなどを共に活動している。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>サンシャインたより（写真つき）を毎月ご家族に送り、近況報告を行っている。必要に応じて、電話連絡している。</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人になじみのある、物、場所、人間関係をリサーチし、支援に活かすようにしている。</p>	<p>ご家族や友人、知人が気軽に面会に来てもらえるような雰囲気づくりや近隣への買い物や散歩等を通じて、地域の方と交流を行い、地域との関係性も維持継続できるよう日頃のかかわりの中で様々な工夫をしている。</p>	<p>事業所だけで取り組むことは困難なことも多いので、地域の支援者を中心に地域での関係継続の輪を広げていけるよう考えていかれることに期待したい。</p>
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者各人の性格、病状を把握したうえで、各入居者が孤立しない様に職員が側に寄り添い支援している。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>相談があれば必要に応じて対応している。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人からの要望はできる限り受け入れ、生活に反映できるように支援している。訴えが困難な方には傾聴し理解しようと努力している。	職員は、利用者が望む暮らしや何をしたいのか、誰に会いたいのか等と理解するために日々のケアの中で声を掛け、常に把握に努めている。	把握した利用者の意向や思いの記録漏れや正確性を高めるため、タブレットによる記録入力を検討されてはどうか。職員間の引継ぎ時、連絡事項の正確性も高まると思われる。
24	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	入居前には必ず家庭訪問し、生活環境、人間関係を調査し、サービス利用等の把握に取り組んでいる。	/	/
25	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日、ケース記録行い、朝礼、夕礼の申し送り時に情報共有をしている。	/	/
26	10 ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	主治医、看護師、家族様が参加するケア会議は開催していないが、必要に応じてそれぞれに意見を伺い、ケア会議を必要に応じて開き、日々のケアに活かしている。モニタリングは毎月行っている。	本人の視点にたつてその人らしい暮らしを続けられるために、必要な支援を盛り込んだ介護計画を作成されている。	本人の身体状態の変化や期間に捉われず、又、本人や家族等からの新たな要望や意向がないような場合でも、本人や家族との日頃のかかわりの中での思いや意見が大事となる。継続して、積極的に聞いていくことにも力を入れて取り組んでいかれることに期待したい。
27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	特記事項、日々のケースは朝礼、夕礼での申し送りで報告し、申し送りノートを作成し、情報を共有している。	/	/
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	各入居者にあつた支援ができるように、日々、アセスメント行っている。	/	/
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議、地域行事（敬老大会、盆踊り大会等）、ふれあい喫茶、100歳体操などを通じ地域資源の把握、活用は、可能な範囲で、できている。	/	/
30	11 ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者のかかりつけ医希望があれば継続治療ができるように支援している。希望がなければ、かかりつけ医を紹介している。	提携医療機関以外に利用者やご家族が希望する医療機関での受診や通院ができるよう配慮されている。又、夜間等の緊急時は、近隣医療機関のドクターカーを利用した救急医療が利用できるよなっている。	日々の利用者のバイタル記録漏れや精度を高めるため、タブレットによる記録入力をされてはどうか。又、記録入力されたデータは、かかりつけ医ともデータによるタイムリーな連携が可能となり、受診時の効率化にもつながると思われるので、検討されてはどうか。

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>週1回の訪問看護で看護師の来所あり。24時間体制で看護師に連絡相談できるように連携が取れている。主治医からの指示も仰ぐことができるようになってきている。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>病院関係者との情報交換については、嘱託医とともに、連携が取れている。</p>		
33	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化時の対応については、どのように過ごして頂くか、ご家族と話し合い、同意を頂いている。ご家族の希望にできるだけ配慮し、サンシャインで過ごしてもらおう。</p>	<p>事業所としての重度化や終末期の看取り方針の策定はこれからとなるが、本人と家族の意向を踏まえて、医療機関と事業所が連携をとり、本人と家族が安心して重度化や終末期を過ごせるよう取り組んでおられる。</p>	<p>重度化や終末期の対応では、早期からの話し合いと本人や家族を含めた関係者全員との方針の合意、その後の状況の変化に応じた繰り返しの話し合いが必要となるが、継続して本人や家族の揺れ動く思いに寄り添いながら、対応されていかれることに期待したい。</p>
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>職員へ朝礼、夕礼、申し送りノート、職員会議等を利用し、周知している。ヒヤリハット報告書を多用している。また応急手当、AEDの使用方法は消防署職員から定期的に指導を受けている。</p>		
35	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>ホームでは年間2回の1階との合同消防訓練を実施しているが、地域との連携は築けていない。運営推進会議では地域活動への参加を希望する旨伝えている。</p>	<p>想定される災害に対し、行政や消防署、地域住民から情報を収集しながら最適な対策を検討し、避難訓練で実践されている。</p>	<p>災害の発生は、予測できないため、夜間等職員だけの避難誘導の限界に備えて、地域住民と連携した避難訓練を充実させていかれることに期待したい。</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重し、言動を適切に行えるように心がけている。言動等が適切でないときはその都度、指導している。	誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応を心掛けているが、適切でない時は其の都度職員に指導されている。	年長者の人格を尊重し声掛けをしているが、目と目を合わせてのゆっくりした会話は出来ていない。人手不足のため細かい所まで気が回らないこともあるかと思うが、職員間で気付いた点を話し合い、より手厚い対応を期待したい。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	様々な生活場面で自己決定ができる様に、勧めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	無理強いせず、本人のペースで過ごして頂けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出来る限り、服装、身だしなみは、本人の意向を聞き入れるように心がけている。季節に合った服装であるかも気を付けている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	月に一度のクッキングデイでは、アンケートを取り、一緒に調理、準備し、楽しんで召し上がって頂けている。日々の食事ではできる方は、準備等に参加できている。	クッキングデイ、普通の日、雑祭りや誕生日など、利用者、職員で様々なアイデアを出し、調理・盛り付け・片づけなど、得意分野を分担し楽しく和気あいあいとした時間を過ごして居られる。	これからもパンケーキやちらし寿司、焼きそばと、楽しみながら安全安心の食事作りをされる事を望みます。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	食事・水分の摂取量は日々チェックを行い、状態を把握している。主治医から指示が出ている方に関しては、その方に応じた支援を行い日々アセスメントしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	各入居者に毎食後、声かけを行い、口腔ケアしている。また、1週間に1回の訪問歯科で往診を受け、口腔衛生指導も受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	その方に応じたタイミングで声かけ、介助しトイレに誘導している。排泄の状態もチェックし、必要があれば、医療関係にも相談している。	その方に応じたタイミングで声掛けトイレに誘導し、排尿排泄の自律支援を行っている。排泄のない日が3日以上続いた場合は医療期間に相談している。	夜間等必要に応じて紙パンツ（おむつ）等を併用されていかれる中で、排泄に何らかの支障が生じたとき、適切な提案や情報を提供してもらえる「おむつフイッター」という資格を持つ方に相談してみることも検討されてはどうか
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	出来る限り多めに水分補給を勧める、また、散歩、体操などを行っている。朝食ではヨーグルトを使用。場合によって、腹部マッサージを行う時もある。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日、時間帯は決まっているが、その中で、本人の希望を聞き入れてケアを行っている。	入浴を常に嫌がる利用者には、前もって入浴の準備を職員がしておいてから脱衣場に案内することで同意を得やすい条件を整えている。	入浴日・時間帯は決まっているが、その中では本人の希望を聞き入れ臨機応変の対応での支援を今後とも願いたい。

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>今までの生活環境などを理解した上で、出来る限り、昼間は活動するように心がけ、夜間は安眠が出来るように支援している。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>主治医からの指導に基づき、薬について理解し、服薬の支援を行っている。誤薬が無いように、包材に記載済みの名前・日時等チェックし、服薬後もチェックシートを利用して、職員間で連携をとっている。</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>入居前の面談で習慣、生活歴を把握し、入居後も継続して行えるように支援している。</p>		
49 18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>時々本人の食べたいものや行きたいところを、リサーチし、職員付き添いのもと年に1回の特別外出を実施している。他にも、気候が良い日は買い物、散歩などできる限り希望に添えるように支援している。</p>	<p>年に1度とはいえ、本人の希望に沿った特別外出は非常に充実した一日として利用者の楽しみとなっている。</p>	<p>職員が少ないため日々の散歩の頻度は低い。気候の良い季節には週一回でも出かけられるように支援して戴きたい。</p>
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一部ご自分でお金を所持している方はいらっしゃいますが、買い物に行ける方は、その際、職員が持参し、物品を購入しています。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望があれば検討し行っている。</p>		
52 19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用のリビングでは季節感が出るような雰囲気作りにも心がけている。トイレには大きな字で表記している。</p>	<p>共用のリビングでは季節感が感じられる雰囲気作りも心掛けて居られる。</p>	<p>雑誌などを参考に、居心地の良い共用空間作りを職員と利用者で創意工夫され継続して戴きたい。</p>
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングでは入居者同士で過ごせ、居室に戻れば、個室になっており独りになれる空間が確保できている。</p>		
54 20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人の馴染みのある物を置いていただき、居心地よく過ごして頂けるように、工夫している。</p>	<p>利用者本人や家族と相談しながら、使い慣れた物や好みの物を置き、本人が居心地よく過ごせる様工夫している。</p>	<p>これからも利用者本人が居心地良く過ごせる様、手助けして見守って戴きたい。</p>
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>施設内はバリアフリーであり。廊下、トイレ、お風呂場に手すりが付いている。各居室にはネームを貼り、トイレに表示をしたりしてわかりやすくしている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は活き活きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない